



「IP 防犯ネット」情報 Vol.10

～万引き実態調査結果について～



平成 23 年 8 月 23 日
石川県警察本部
生活安全企画課

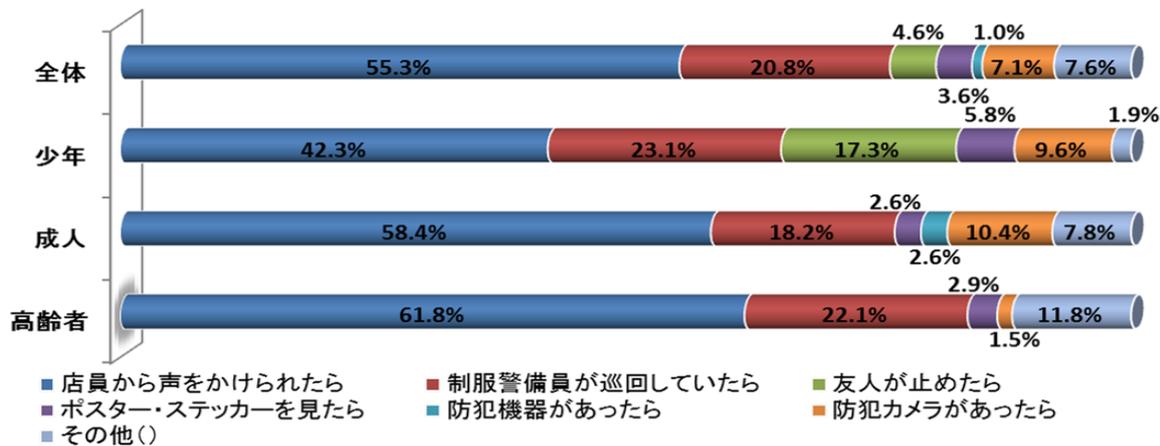
石川県警察本部では平成 23 年 2 月 1 日～4 月 30 日までの 3 ヶ月間
万引き防止対策に役立てる事を目的に、万引き実態調査を実施しました。
55.3%の被疑者が「店員に声をかけられたら犯行を断念する」と回答する
等、万引き防止を考える上で有益な情報が得られました。

なお、これらの情報は石川県警察ホームページで詳細をご覧ください。

調査は対象被疑者 203 名(男 118 名、女 85 名)から任意に実施しました。



こうされたら万引きを断念したと思われること



「店員から声をかけられたら万引きを断念する」と答えた割合が全体で 55.3%を占め、年齢が上がるにつれてその割合が高くなっています。

次いで高い割合を示したのは「制服警備員が巡回していたら」で全体の 20.8%でした。

全年齢層で万引き防止には**店員の声掛けが非常に効果的**であるとの結果になりました。

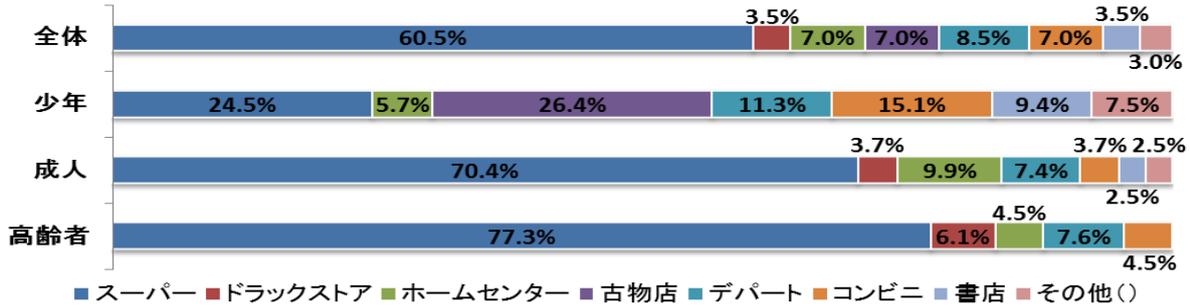
もし不審者を見かけたら店員に通報し、万引きを防止しましょう。

何かお探して
しょうか？



犯行場所

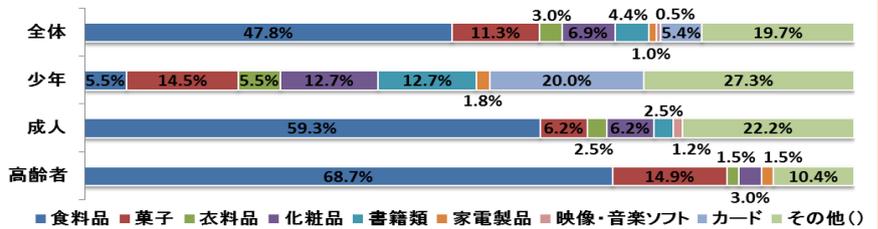
成人、高齢者は「スーパー」が 70%以上を占め、少年は「古物店」や「コンビニ」が多くなっています。



※ほ〜す君：
能登警察署の広報キャラクター

目的物

「食料品」が全体で 47.8%と高くなっています。高齢者ほど「食料品」を目的とする傾向があります。



「犯行時間帯」は少年が下校時間帯の 15 時～18 時で最も多く、年齢が上がるにつれて昼間の犯行が多くなっています。

「万引きの手口」としては少年では「リュックに隠す」が多く、高齢者では「ポケットに隠す」が多くなっています。

犯行動機

少年で「欲しかった」と答えた割合が特に高く、成人、高齢者では「生活に困っていた」と答える割合が最も高くなっています。

